

◆活動団体 団体名：NPO萩まちじゅう博物館
 連絡先：0838-25-3177

◆活動内容 NPO萩まちじゅう博物館は、まちじゅうがまるで博物館のような萩のまちを次の世代に引き継ぐため、このまちの素晴らしい歴史や文化、自然を守り、活用する取り組みを行っています。
 「学芸サポート・古写真班」は、萩博物館に収蔵されている古写真、あるいは市民の方々から寄贈された写真類の分類整理・データベース構築などを通し、萩地域の生活文化の再発見を進め、後世に引き継ぐ活動を主に行っています。

(主な取組)

- ・NPO萩まちじゅう博物館では、萩のまちじゅうに点在するおたから（文化遺産）を調査・認定・公開するとともに、各地域で活動しているまちづくり団体の交流を促進し、萩市全体で「萩まちじゅう博物館」の理念を再構築・再確認するため、文化庁と萩市の支援を受けて平成25年度から3カ年の計画で「萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業」に取り組んでいます。この事業により本年度、萩往還が位置する明木地区と佐々並地区のおたからマップを作成し、それぞれの地区を散策する交流イベントを行いました。

H25年度



◆活動団体

団体名：萩往還社会実験協議会

連絡先：萩市企画政策課（0838-25-3569）

◆活動内容

歴史の道・萩往還を、並走・重複する国道等を利用して起点から安心・安全に楽しく歩けるための案内・誘導や、2次交通の確保・誘導等の社会実験を行いました。本実験は、今後の緊急時通報や道の点検・通報等にも役立つものとし、道路の付帯施設を利用して広告収入を得るなど、住民団体やNPO等が道を継続的に維持管理していく仕組みづくりのために試行されました。この社会実験実施のために、当該協議会を設立しました。

(主な取組)

○萩往還を安心・安全に楽しく歩けるための案内・誘導実験

(1) 案内・誘導標識等の設置実験

- ①距離標示標識（キロポスト）の設置（2キロごとに仮設置、21基）
- ②案内・誘導標識の設置（41基）
- ③案内・誘導標識への位置情報表示（現在地把握のため）
- ④横断危険箇所への注意喚起看板の設置（通行車両に向けて注意喚起、2箇所設置）
- ⑤道路公園（駐車帯）等を活用した萩往還への案内・誘導（2箇所）
 - 佐々並市上道路公園 → 落合の石橋（文化財）への案内・誘導
 - 萩往還梅林園駐車場 → 涙松跡（吉田松陰関連史跡）への案内・誘導
- ⑥距離標示（キロポスト）や案内・誘導標識の設置箇所等を入れた「萩往還トレイルマップ」の作成と配布（マップ作成部数：5000部、配架箇所数 15箇所）

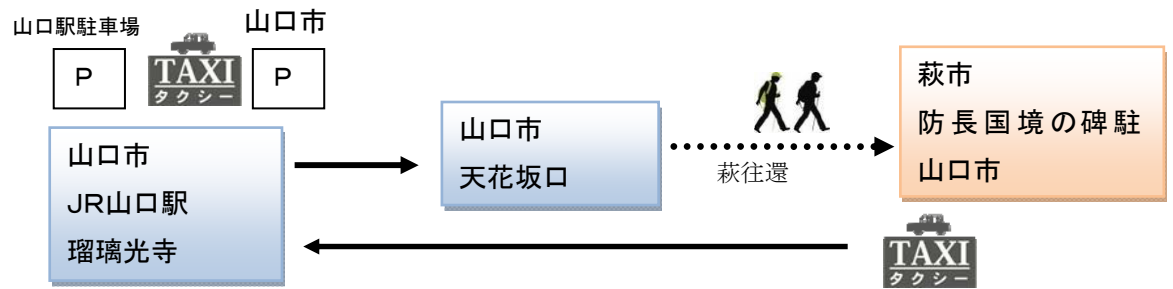


H25年度

○タクシー事業者等と連携した送迎サービスの実験

- ・やまぐち萩往還語り部の会主催のワンコインツアーと連携して参加者を募り、タクシー送迎付きのガイド付モニターツアーを実施。
- ・実験は、以下のコースについて参加者を募集し、期間中の土日祝日の合計7日間実施。
 - 山口市JR山口駅～山口市天花坂口駐車場～防長国境の碑駐車場（約4km・2時間コース）
 - 萩市明木～萩市佐々並（約9km・4時間コース）
 - 萩市梅林公園～萩市明木（約4km・2時間コース）

<送迎サービスのイメージ図 (山口市コースの例) >



○萩往還のトレイル維持管理システムの構築のための実験

(1) 萩往還の維持管理状況の把握

(2) 道路・街道の付帯施設(物)の企業広告掲出等収益事業による維持管理の仕組みづくり

・萩往還社会実験協議会の会長名で、リストアップした61社に対して萩往還の維持管理への理解を求め協賛依頼を行った。この内16社が萩往還への理解と協賛・協力の意向を表明した。

- ①距離標示(キロポスト)の企業広告の掲示(メインスポンサー1社のロゴマーク)
- ②案内・誘導標識への企業広告の掲示(16社の企業名)
- ③宿場町バス停留所への企業広告の掲示(16社の企業名)
- ④「萩往還トレイルマップ」への広告協賛企業名の掲載(16社の企業名)
- ⑤告知チラシ等、社会実験広報物への広告協賛企業名の掲載(16社の企業名)
- ⑥風景街道「萩往還」における広告価値の検証
- ⑦協賛依頼を行った企業に対して、アンケートを通じて風景街道の認知度や萩往還に風景街道を冠したことに対する広告価値等の検証。



(3) 住民やNPOによる維持管理の仕組みづくり

①住民やNPOによる維持・管理作業の実施

・萩往還の距離測定をガイド団体で実施し、道の維持管理のための基本情報を把握すると共に、ガイド団体の維持のための収益事業について検証。

②住民やNPOによるワークショップの実施

・萩往還によるまちづくりや萩往還のガイド活動に取り組む沿線住民・NPOを

参集して、ワークショップを試行。



<p>◆活動団体</p>	<p>団体名 : ----- 連絡先 :</p>
<p>◆活動内容</p>	<p>萩市では街道を活用したまちづくりと観光誘客、そしてウォーキングを通じた心と体の健康づくりを中心に各種団体がそれぞれ特色ある取り組みを行っています。</p>
<p>H25年度</p>	<p>(主な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・彦六・又十郎四百年祭 <p>11月30日、明木の恩人「彦六・又十郎」の四百年祭を実行委員会の主催により開催しました。特別講演・リレートーク・劇・剣舞・二人紙芝居・XU XU (シュシュ) コンサートと盛りだくさんで、「きづな」の大切さを確かめました。萩市東部豪雨災害で被災した須佐地域の子どもたちを招待して楽しいひと時を過ごしてもらうことができました。また、チャリティランチの募金が約10万円集まり、萩市東部豪雨災害の義援金として寄付しました。</p> <p><彦六・又十郎について></p> <p>萩城の築城の際に活躍し、その褒美として明木の里に口屋銭（こうやせん・萩市椿大屋にあった関所の通行税）の免除をもたらした2人の若者、古泉城（こせんじょう）の彦六と菅蓋（すげぶた）の又十郎の話。明木の恩人として、地域の人々から称えられています。</p> <p><u>萩往還道周辺の西来寺（せいらいじ）内に、二人の功績を称えた顕彰碑があります。</u></p> <div data-bbox="355 1274 879 1572" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="914 1274 1425 1572" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・萩往還観光誘致制度創設委員会 <p>萩市・山口市・防府市の地域資源である萩往還の歴史的価値に着目し、その歴史や文化を歩きながら学ぶ体験学習観光メニューの開発・発信を行い、地域ブランドの確立と交流人口の拡大を図ることや、滞在型旅行商品の造成、語り部(ガイド)の養成等受け入れ体制の整備、農林水産業との連携による特産品の開発などが、3市の商工会議所や観光協会が中心となって組織された萩往還観光誘致制度創設委員会によって進められています。</p>